

博物館実習生が紹介！

滋賀県立安土城考古博物館 おすすめ展示資料はこちら！

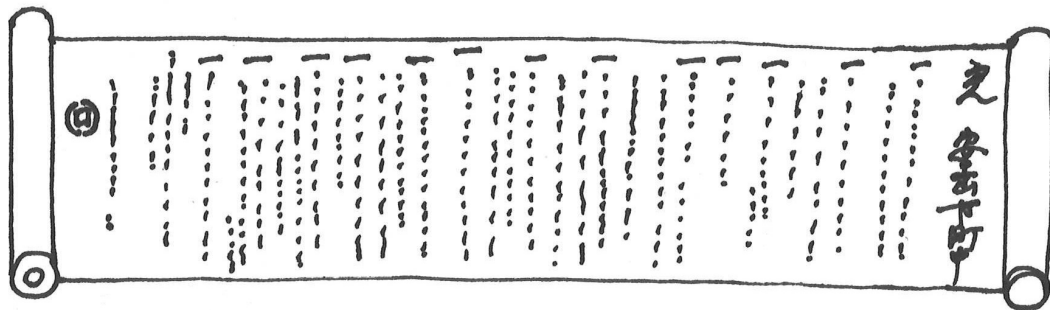
当館では、今年度、学芸員資格取得を目指す実習生を10人受け入れ、博物館実習を実施しました。実習生たちが、当館のおすすめ展示資料を紹介しましたので、是非、展示室にて探してみてください。

第2常設展示室

あづちさんげちょうちゅうおきてがき

安土山下町中掟書（原本：近江八幡市蔵）複製品

信長が安土城下町に発した13か条の掟書、つまりルールです。問題が起きた時に処罰はどうするのかという町には欠かせないものもありますが、^{らくいちらく}楽市楽座など経済発展のためのルールが特に目を引きます。 京都橘大学 Tさん



織田信長が安土城をつくる時に、城下町発展のために出した決まり事が書かれた文書の複製品です。実物を見ても、何が書いてあるか分からない人。安心してください。現代の言葉で訳したのも一緒に展示されているので無理なく読めます。信長が町の人のために書いた13の言葉を、是非近くで見てください。書最後に捺されている赤い判子に注目してください。「天下布武」を「二疋の龍」で困んだそれは、織田信長の「しるし」です。^{にひき}他の資料にも楕円のものや豊臣秀吉のしるしがあるので、是非探してみてください。 京都芸術大学 Fさん

博物館実習生が紹介！

● 滋賀県立安土城考古博物館 おすすめ展示資料はこちら！

第2常設展示室

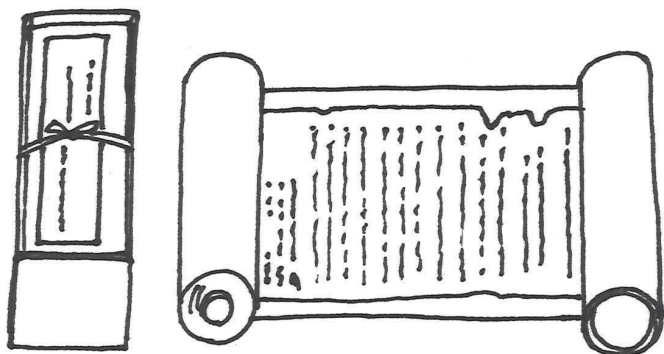
すえはちまんじんじゃもんじょ

須恵八幡神社文書（八幡神社蔵） 当館寄託品

しょうあみとうれんしよはたちばいけん

しょうあみ

現在展示中の「正あみ等連署畠地売券」は、正阿弥という人物が先祖相伝の土地を米一石で売り渡したことを証す文書です。戦国武将ではない、一般の人々の暮らしの一端が見える興味深い資料です。現代と当時の土地のやりとりの違いを考えたり、所々ひら仮名で書かれた資料の解読を試みることも楽しいのではないのでしょうか。



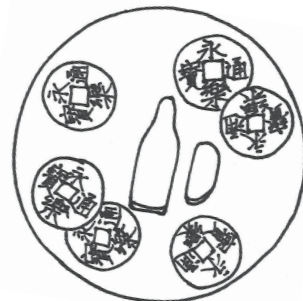
● 京都橘大学 Yさん

てつつば えいらくせんすえもんぎんそうがん

そうけんじ

鉄鍔—永楽銭据紋銀象眼—（原資料：惣見寺蔵） 複製品

信長の「まけずの鍔」は本館で是非見ていただきたい展示品です。伝説によると、鍔に銀象嵌で施されたえいらくつうほう永楽通宝（中国明時代の銭）は、信長がこれから向かう桶狭間合戦での武運を願うために熱田神宮を詣でたときに、投げられた銭を表しています。6枚の全ての銭が、表面を向いています。桶狭間の戦いでの圧倒的な勝利の後、自分の愛刀の鍔に永楽通宝をモチーフに施しています。ご来館の皆様にご覧いただき、これから向かう人生の戦にご武運を招いていただきたいです！



● 立命館大学 Tさん